

教科名	芸術		学年	2	教科書 補助教材 等	光村図書 書Ⅱ
科目名	書道Ⅱ		単位数	1		
科目担当者	喜入裕基子					
科目の到達目標	書道の幅広い活動をとおして、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める					
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考
一 学 期	4	篆刻 姓名印をほる	篆刻・姓名印の制作・布字 正確に布字する		2	
	5	篆刻 姓名印をほる	印刀の使い方を理解する		3	
	6	篆刻 姓名印をほる	慎重かつ大胆にほる		4	
	7	創作作品	作品を作り、作成した印を押す		2	
二 学 期	9	隷書の成り立ちについて 木簡、漢代の隷書	隷書の基本用筆・古典の臨書 隷書の用筆を繰り返し練習することで、特徴を表現できるようにする		4	
	10	草書の成り立ち、特徴、基本用筆草書の臨書、創作	楷書とかけ離れた字形の理解、筆圧の変化、線の太細の変化に注意する。字形をデフォルメし、にじみ、かすれを出しながら、作品を仕上げる。		4	
	11	行書古典の臨書、創作	行書古典の臨書、様々な特徴を持つ古典の臨書。複雑な表現を学ぶ		4	
	12	漢字仮名交じりの書 ・漢字と仮名の調和 ・構成を工夫しての作品作り	好きな言葉での創作。草書、行書で学んだ筆圧や速度の変化を使い、作品を創作する		4	
三 学 期	1	細字、仮名	金泥での細字・仮名古典の臨書（百人一首など）小筆に慣れ、実用に生かす。		3	
	2	細字、仮名	金泥での細字・仮名古典の臨書（百人一首など）小筆に慣れ、実用に生かす。		4	
	3	生活の書、飾る作品作り	はがき、色紙などに作品を作り、まとめとする。生活の中に書を取り入れ、飾って愛好する		1	
年間授業時間数計	35		1学期 11	2学期 16	3学期 8	
学習上の留意点	自ら考え、工夫しながら、主体的に取り組むようにする。					
評価の観点					評価方法	
関心・意欲・態度	書を愛好する心情を持ち、自ら主体的に取り組んでいるか					授業に主体的に取り組み、考え、工夫しながら作品を書いているかを、提出課題、授業態度、出席状況などか総合的に判断する。
思考・判断・表現	用具用材を工夫しながら、古典の特徴をとらえようとしているか					
技能	古典に基づき、書体書風に即した用筆を用い、感興や意図に応じて表現できているか					
知識・理解	書体の変遷、書の歴史を踏まえ書くことができていますか					